

ラッカセイ (マメ科)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
タネまき 植えつけ						収穫					
■						■					

〔ほふく性〕 千葉74号 (大粒)

栽培ポイント

25度以上の高温と強い日光のもとでよく育ち、寒さには弱いので、タネは4月下旬～5月上旬、暖地では4月中旬にまきます。タネまき前に殻から豆を出し、水に一昼夜つけてからまきます。じかまきすると欠株ができやすいので、箱まきにし、暖かい場所において発芽させます。タネは2～3日で発芽してきますから、7日おきに500倍の液肥をやり、20日ぐらい育苗して畑に植えます。

ラッカセイは石灰を多く要求する作物です。石灰が少ないと実入りが悪いので、あらかじめ1㎡あたり5握りの苦土石灰を全面に、まいて土とよくまぜておき、畝を作ります。

よく肥えた畑では肥料はいりませんが、やせ地では、からさがやが多くなりますから、全面に元肥えを施して畝を作ります。

1㎡畝では、立性種は2条に、ほふく性種は1条に植えますが、土寄せをするために、幅10cm、深さ7～8cmの植え溝を掘った所に植えます。

雌しべの先端が土にもぐるために、土寄せはたいせつで、開花が始まってから2回行います。

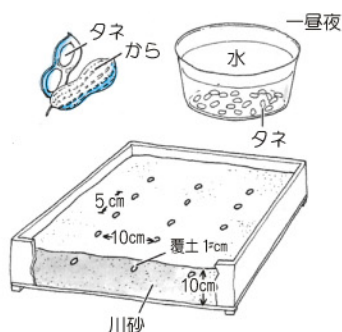
10月中旬ごろ茎や葉が黄色くなって下葉が少し枯れ落ちたら、1株試し掘りしてから収穫します。

栄養

脂肪、タンパク質、ビタミンBを多く含みます。

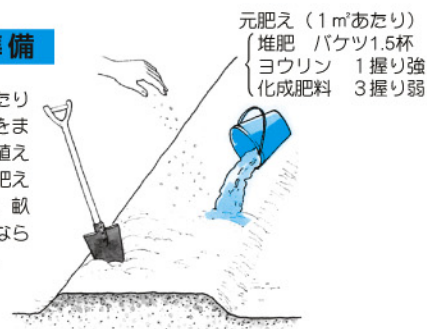
1 タネまき

タネは、暖かくなってから箱にまく。殻から出して一昼夜水につけたタネを、条間を10cmとって5cm間隔に1個ずつまき、1cm覆土。水やり後、暖かい場所において発芽させる。



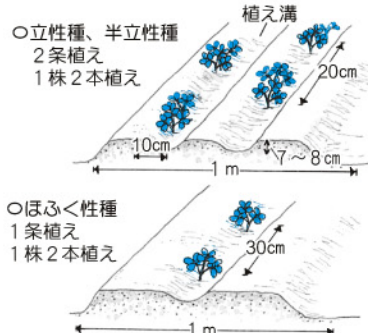
2 畑の準備

前もって1㎡あたり5握りの苦土石灰をまいて耕しておき、植えつけ1週間前に元肥えをまいて土にまぜ、畝を作る。肥沃な畑なら元肥えはいらない。



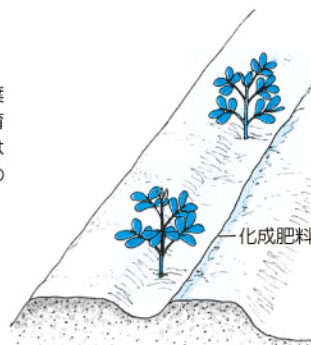
3 苗の植えつけ

土寄せする分を見越して植え溝を作り、溝の中に苗を植える。苗は20日ぐらい育苗したのち、根を傷めないよう、ていねいに掘り出して植える。



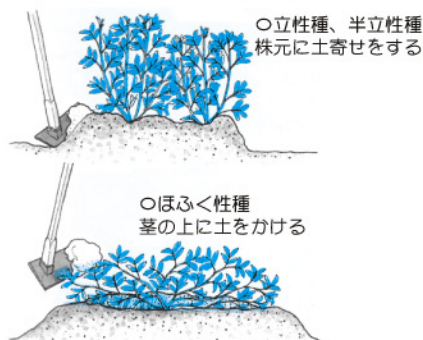
4 追肥

6月上旬ごろ本葉4～6枚になる。育ち遅れている場合は1㎡あたり1/2握りの化成肥料を施す。



5 土寄せ

花が咲き始めたころと、株の半分ぐらいの花が咲いたころの2回、土寄せをする。



6 収穫

10月中旬、茎や葉が黄色くなって、下葉が少し枯れ落ちたら、1株試し掘りをする。さがが充実していて、網目が現れていたら収穫適期。

シャベルで掘り、土をはらう



主な病害虫

- ◆病気 褐斑病、黒波病
- ◆害虫 マメシロイガ、カメムシ類